

# 手話という言語をもっと身近に

詳細 障がい福祉課  
☎(32)6412 FAX(36)3121  
Eメール syogaifukusi@city.tomakomai.hokkaido.jp



手話は、手指や体の動き、表情を使って表現する「見る言語」です。  
耳の聞こえない方のコミュニケーション方法の一つである手話は、最近ではテレビの記者会見などで手話通訳者の姿が映し出されることも多くなりました。  
聴覚障がい者が困っていたら…今回はコミュニケーションで使えるワンポイント手話をご紹介しますので、手話を身近に実践してください。



## 「聴覚障がい」とは

耳の機能に何らかの障がいがあるため、音や声が聞こえない、あるいは聞こえにくい状態のことを言います。

ろう者

耳が聞こえない人で、手話で会話をしている人。

中途失聴者

音声で話をしていたが、病気や事故などにより聞こえなくなった人。

難聴者

音が聞こえにくい人で、補聴器を使い音声で会話をしている人。

## 聴覚障がい者の困り事

耳が聞こえないことは外見からでは気付かれにくいいため、日常生活のいろいろな場面で困ることがたくさんあります。

### 道を歩いているとき

後ろから近づいてくる自転車のベル、車のクラクションなどの音に気が付きません。後ろから声を掛けられても分からず、無視していると誤解されます。

→後ろから声を掛けて、気が付いてもらえなかったときは、聞こえない人かもしれないと思ってください。決して無視しているわけではありませんので、正面から話し掛けてください。

### 病院などの窓口では

音声による呼び出しが分かりません。

→番号表示や振動による呼出機がもっと増えると助かります。また、ボードやイラストなどを使用して、視覚で分かりやすくしてほしいです。

### マスクで困る

コロナ禍でマスクを着けるようになり、相手の口元や表情が見えにくく、話の内容が分かりません。

→聞こえない、聞こえにくい人は相手の口の動きや表情を

見て言葉を読み取ります。「聞こえない」「マスクを外して」という身振りをされた場合は、筆談や音声文字変換アプリなどを使ってみてください。

### 駅や商業施設などでは

音声放送による案内が聞こえません。電車の遅延や運休、買い物中に非常ベルが鳴っても分かりません。

→以下の方法があると分かりやすいです。

- 電光掲示板の文字放送
- 大きな紙に状況を書き、目につきやすい所に貼る
- 非常ベルの音の代わりに光の点滅

### 災害時では

サイレン、広報車のアナウンス、テレビでの緊急放送の内容が分かりません。最近では、手話による情報保障の配慮がされつつあります。

→「苫小牧市防災メール」を登録すると、防災情報、津波・地震情報などが配信されます。また、「苫小牧市 LINE 公式アカウント」からも防災情報を受け取ることができます。

## 手話奉仕員養成講習会

毎年、市民を対象に、手話学習初心者向けの「手話奉仕員養成講習会」を開催しています。ろう者の言語である手話を学び、手話で自己紹介や日常会話ができる手話奉仕員を養成しています。令和4年度の開催日程については、決まり次第広報とまこまいに掲載します。詳しくは障がい福祉課までお問い合わせください。